



ニハ出資者總會ヲ置カザルコトトスルト共  
ニ、政府以外ノ出資者ニ對シ年四分ノ配當  
ヲ保證スルコトトシ、他面剩餘金ヨリ出資  
者ニ對スル年五分ヲ超エザルコトトスルト共  
積立金ヲ引去リマシタ殘餘ハ、之ヲ擧ゲテ  
國庫ニ納付セシムルコトト致シタノデアリ  
マス、第七ハ、日本銀行ヲ公的機關ニ改編  
スルニ伴ヒ、國家ト同行トノ一體的關係ヲ  
強化シ、其ノ連繫ヲ緊密ナラシムルガ爲、  
同行ニ對スル政府ノ監督制度ニ付所要ノ改  
正ヲ行フ點デアリマス、第八ハ、日本銀行  
ノ改組ニ關聯シ、現在ノ日本銀行ト新日本  
銀行トノ關係ヲ調整スル爲、所要ノ規定ヲ  
設クル點デアリマス、日本銀行ノ改組ニ當  
リ現在ノ日本銀行ノ權利義務其ノ他一切ノ  
法律關係ハ其ノ儘新日本銀行ニ於テ之ヲ承  
繼セシムルコト致シマシタ、又改組ノ際  
ニ於ケル同行ノ株主ハ其ノ儘新日本銀行ノ  
出資者トナルコトト致シタノデアリマスガ、  
右出資者ニ對シテハ改組ニ依リ損害ヲ蒙ル  
コトナカラシムルガ爲、日本銀行ヲシテ昭  
和十五年及同十六年中ノ日本銀行ノ株式ノ  
時價及新日本銀行ノ成立ノ日ニ於ケル出資  
者ノ持分ノ價格ヲ參酌シ、大藏大臣ノ定メ  
タル適正ナル基準ニ依リ補償金ヲ交付セシ  
ムルコトト致シタノデアリマス、最後ニ現  
行ノ日本銀行關係諸法規ヲ整理統合シテ、  
其ノ體裁及內容ニ整備ヲ加ヘル點デアリマ  
ス、現行ノ日本銀行制度ハ日本銀行條例、  
兌換銀行券條例、日本銀行納付金法、金準  
備評價法及昭和十六年法律第十四號ヨリ成  
デアリマシテ、其ノ調和ヲ缺キ、是等ノ全  
體ヲ通ジテ日本銀行制度ノ內容ヲ綜合的ニ

且明確ニ理解スル上ニ甚ダシク不備デアリト致シタノデアリマス、本法案ノ大要ハ以上申述ベマシタ通リデアリマスガ、之ニ依リ今後日本銀行ハ政府ト一體的關係ニ立チ、我ガ國中央發券銀行トシテ遺憾ナク其ノ使命ヲ果シ得ルコトトナルモノト考ヘルノデアリマス、サウシテ今後國家ハ日本銀行行ニ對シテ無限ノ援助ヲ與フルコトトナルノデアリマスルカラ、日本銀行ノ信用ノ基礎ハ愈々鞏固トナリ、同行ハ新シキ事態ニ相應ハシキ中央發券銀行トナルモノト確信致ス次第デアリマス、次ニ戰時金融金庫法案ニ付キマシテ説明致シマス、戰時經濟確立ノ爲我ガ國產業ニ要請セラレテ居リマス生産ノ重點的擴充、產業再編成及重要物資ノ貯藏等ハ、大東亜戰爭ノ勃發ニ伴ヒマシテ愈々喫緊ノ要務ト相成ツテ參タノデアリマス、而シテ是等生産ノ重點的擴充、產業再編成及重要物資ノ貯藏等ヲ遂行致シマスル爲ニハ、之ニ必要ナル資金ヲ圓滑ニ供給スルヲ要スルコト言フ俟タザル所デアリマス、斯カル資金ハ從來ハ一般金融機關等ノ活動ニ融資命令ノ發動等ニ依リマシテ供給セラレテ參タノデアリマスガ、產業ノ擴充、產業再編成及重要物資ノ貯藏等ノ遂行が急要スルニ至リマスルニ伴ヒ、之ニ必要ナル資金ノ需要ハ今後益々增大スルモノト豫想セラル、ノデアリマス、而シテ是等資金ノ供給ヲ期待スルコト困難ナルモノモ少クナイノデアリマス、斯カル資金ノ供給ヲ圓觀點ヨリシテハ一般金融機關等ヨリノ自發的供給ヲ期待スルコト困難ナルモノモ少クガ困難ナル等ノ事情ニ依リ、從來ノ金融的ナインノデアリマス、斯カル資金ノ供給ヲ圓滑ナラシメマス爲ニハ、新タニ積極的ナル

アリマス、仍テ力強ク此ノ要請ニ應ジ得特  
殊ナ機關トシテ戰時金融金庫ヲ設立致シ  
以テ戰時經濟ノ運營上必要ナル資金ノ供給  
ニ遺憾ナカラシメムトスルモノデアリマシ  
テ、之ニ依リ他面一般金融機關ノ運營ノ健  
全性ニ寄與スル所亦大ナルモノガアルト存  
ズル次第デアリマス、次ニ本法案ノ主ナル  
點ニ付キ御説明致シマス、先づ第一ニ本金  
庫ノ組織デアリマスガ、本金庫ノ資本金ハ  
三億圓トシ、認可ヲ受ケテ増資シ得ルコト  
ト致シマシタ、而シテ政府ハ二億圓以内ニ  
於テ之ニ出資シ得ルコトトシ、殘リハ之ヲ  
民間ノ出資ニ俟ツコトトスル考デアリマス、  
本金庫ノ役員ハ總裁、副總裁各一人、理事  
五人以上、監事二人以上及評議員若干人ヲ  
置キ、政府ガ之ヲ任命致スコトト相成ツ  
テ居リマス、評議員ニハ關係官吏及民間關  
係者ヲ之ニ任命致シマシテ、業務ニ關スル  
重要ナル事項ニ付キ總裁ノ諸問ニ應ゼシム  
ルコトト致シ、本金庫運營上各方面トノ連  
絡ヲ十分ニ保持セシメタイト考ヘテ居リマ  
ス、役員ノ任期ハ、總裁、副總裁及理事ハ  
四年、監事及評議員ハ二年ト致シテ居リマ  
ス、第二ニ業務ニ付テ述ベマスレバ、本金  
庫ハ國家緊要產業ヲ營ム者、維持ヲ必要ト  
スル未働遊休設備ヲ保有スル者、國家ノ必  
要ニ應ジテ重要物資ヲ貯藏シ、又ハ事業ノ  
整備ヲナス者ニシテ、從來ノ通常ノ金融方  
法ヲ以テシテハ、其ノ必要ナル資金ノ供給  
ヲ受クルコト困難ナルモノニ對スル投資又  
ハ融資竝ニ市價安定ノ爲ニスル有價證券ノ  
賣買保有ヲ行フモノデアリマス、尙本金庫  
ハ其ノ目的達成上必要アル場合ニ於テハ、  
認可ヲ受ケテ其ノ他ノ業務ヲモ行ヒ得ルヤ

ウニ相成シテ居リマス、此ノ機會ニ於テ本金庫ノ業務ト從來ノ金融機關ノ業務トノ關係ニ付テ一言ヲ致シマスルニ、從來ノ金融機關モ今後益々時局ノ要請ニ應ジ、必要ナル方面ニハ進ンデ資金ノ供給ヲ圖リ、以テ戰時金融ノ責任ヲ分擔スベキコト當然デアリマスルガ、唯從來ノ金融機關ヲシテ供給セシムルコト困難ナリト認メラル、資金ニ付キマシテハ本金庫ヲシテ之ガ供給ニ當ラシメントスルモノデアリマス、本金庫ノ業務中、投資ニ關シマシテハ、從來之ヲ擔當スベキ適當ナル専門機關ガナク、又未働遊休設備ノ維持及企業ノ整備等ニ要スル資金ノ融通ニ當シ得ナイ分野ガアルノデアリマス、唯國家緊要產業ニ對スル融資ノ部面ニ關シマシテハ、日本興業銀行デ取扱ッテ居リマスル命令融資ノ制度ガ存スルノデアリマスガ、此ノ種ノ金融ノ必要ハ今後益々増加スルモノト考ヘラレマスルシ、且又此ノ種ノ金融ハ現在ノ如ク此ノ個々ノ貸付ニ付テ融資命令ヲ發シマシテ、補償ヲ行フト云フコトモ一方法デハアリマスルガ、尙包括的ナル國家ノ補償ヲ背景トシテ、專ラ之ヲ取扱フ機關ヲ設ケルコトガ適當デアルト考ヘテ居ル、次第デアリマス、尤モ本金庫設置後ト雖モ、融資命令ノ制度ハ之ヲ存續シテ、必要アレバ日本興業銀行等ニ對シマシテ融資命令ヲシテ債券ノ發行ニ依ルコト致シ、拂込モ償還及利息ノ支拂ヲ保證シ得ルコトト致

シテ居リマス、第四ニ、本金庫ニ對スル國  
家ノ援助ニ付テ申上ゲマスルニ、本金庫ノ  
業務ノ性質ニ顧ミテ、政府ハ本金庫ガ民間  
出資ニ對シテ年五分ノ配當ヲナスニ必要ナ  
ル補給金ヲ交付スルコトニ致シテ居リマス、  
即チ本金庫ハ國家的必要ニ應ジテ回収ノ確  
實性必ズシモ明確ナラザル投資及融資ヲ行  
フモノデアリマスカラ、損失ガ生ジマシタ  
場合ニモ政府ガ之ヲ填補シテ、民間ノ出資  
ニ對シ配當ヲナシ得ルヤウ必要ナル補給金  
ヲ交付セムトスルモノデアリマス、第五ニ、  
本金庫ニ對スル監督ニ付テハ、本金庫ハ國  
家的見地ニ立ツテ、戰時金融ヲ分擔シ、政府  
ノ産業政策ノ圓滑ナル遂行ニ協力スル公的  
機關デアリマスノデ、只今申上ゲマシタヤウ  
ナ特權ヲ與ヘラレテ居ル點ニモ顧ミマシテ、  
政府ハ監理官ヲ置キ、其ノ業務ヲ監視セシム  
ル等嚴重ナル監督ヲナシ、又其ノ職員ハ法  
律上公務員トシテ取扱フコトニ致シテ居リ  
シテ資金ノ供給ヲナスモノデアリマスカラ、  
何處迄モ必要ナル方面ニハ十分ニ之ヲ供給ス  
ルノ要ガアリマスルト共ニ、其ノ半面本金  
庫ヲ通ズル資金供給ニ依ツテ國家的ニ見テ  
資金ノ運用ガ放漫ニ流レルガ如キコトハ、  
嚴ニ之ヲ避ケナケレバナラヌノデアリマス、  
從ツテ只今申上ゲマシタ通り本金庫ニ對ス  
ル監督權ヲ嚴重ニ致シマスト共ニ、本金庫  
ヨリ資金ノ供給ヲ受ケタル者ニ對シマシテ  
モ、亦必要ガアレバ政府ハ報告ヲ徵シ、或  
ハ當該官吏ヲシテ監査ヲ行ハシメ得ルコト  
ト致シテ居ルノデアリマス、最後ニ日本協  
同證券株式會社ノ本金庫ヘノ統合ニ付テ一  
言致シマスルニ、同社ハ生產力擴充資金供  
給ノ圓滑ナル疏通ニ資スル爲、有價證券ノ

市價安定ヲ圖ルコトヲ目的トシテ、昨年春設立セラレ、爾來政府ト密接ナル連絡ヲ保チ其ノ目的達成ニ努メテ參ッタノデアリマス、今回曩ニ申述ベマシタ通り市價安定ノ爲ニスル有價證券ノ賣買保有ハ、之ヲ戰時金融庫ニ於テ行フコト相成リマスルノデ、同社ハ本金融庫成立ト共ニ、本金融庫ニ統合スルコト致シテ居ルノデアリマス、以上戰時金融金庫法案ニ付キマシテ御説明ヲ致シマシタ次第デアリマス、最後ニ臨時資金調整法中改正法律案ニ付キマシテ御説明致シマス、改正ノ第一ハ、戰時金融金庫ヲ本法第二條ノ金融機關ノ中ニ加ヘムトスルコトデアリマス、本議會ニ於キマシテ別ニ、戰時金融金庫法案ヲ提出致シタノデアリマスガ、該法案ニ依リ設立セラレマスル戰時金融庫ニ付キマシテ、其ノ資金ノ分配調整ヲ圖ル必要ガアリマスル爲、本法ノ金融機關ノ内ニ加ヘルコトニ致シタノデアリマス、次ニ改正ノ第二ハ、本法ニ依ル、興業債券ノ發行限度ヲ二十億圓ヨリ五十億圓ニ擴張致シマスルト共ニ、興業債券ニ對スル政府ノ元利支拂保證ノ現在ノ制限ノ限度ヲ撤廢セムトスルコトデアリマス、興業債券ノ發行限度ニ付キマシテハ、昨年通常議會ノ協賛ヲ得マシテ、之ヲ十億圓ヨリ二十億圓ニ擴張致シタノデアリマスルガ、其ノ後ニ於ケル生産力擴充資金其ノ他時局ニ緊要ナル資金ノ需要ハ益々增加致シマスルノデ、日本興業銀行ニ於ケル貸出金ハ昨年中ノミデ所要資金調達ノ爲、興業債券ノ發行亦昨年同期間中ニ於ケル公社債保有高ノ增加ハ二億四千四百餘萬圓ニ達シテ居リマス、之ガ所要資金調達ノ爲、興業債券ノ發行亦昨年中ニ於テ十億一千六百餘萬圓ノ巨額ニ達シ

行餘力ハ五億七千百餘萬圓ヲ餘スニ過ギナ  
イコトト相成ツタノデアリマス、而モ今後大  
東亞戰爭完遂ノ爲ニハ此ノ種資金ノ需要ハ  
一層増大スルモノト豫想セラレマスルノア  
茲ニ右發行限度ヲ二十億圓ヨリ五十億圓ニ  
擴張シ、之ガ所要資金ノ調達ニ支障ナカラ  
ラシメムトスルモノデアリマス、是ト共ニ  
興業債券ニ對スル政府ノ元利支拂保證限度  
ハ、現在二十億圓ト相成ツテ居ルノデアリマ  
スルガ、之ガ發行ノ圓滑ヲ期セムガ爲ニハ、  
臨時資金調整法ニ依ル債券タルト、日本興  
業銀行法第十二條又ハ第十二條ノ二ノ規定  
ニ依ル債券タルトヲ問ハズ、總テ政府保證  
ヲナシ得ルコトトスルヲ適當ト認メラレマ  
スルノデ、茲ニ右二十億圓ノ限度ヲ撤廢致  
サムトスルモノデアリマス、改正ノ第三點  
ハ、商工債券ノ發行限度ヲ擴張シ、五千萬  
圓ヲ限リ商工組合中央金庫法第三十一條ノ  
制限ヲ超エテ之ガ發行ヲナシ得ルコトナ  
サムトスルモノデアリマス、商工組合中央  
金庫ノ貸出金ハ近時時局ノ要請ニ伴ヒ、相  
當急激ナル増加ヲ致シテ居ルノデアリマシ  
テ、昨年中ニ四千三百餘萬圓ヲ增加致シ、  
商工債券ノ發行高亦同期間中ニ於テ借換ノ  
分ヲ除キ四千九百餘萬圓ニ達シテ居ルノデ  
アリマス、從ヒマシテ昨年末ニ於ケル發行限  
度力ハ七百十餘萬圓ヲ存スルニ過ギナイ狀  
況デアリマス、而モ同金庫ニ對スル資金ノ調達  
ニ支障ナカラシメムトスルモノデアリマス、  
セラレマスルノデ、茲ニ本法ニ依リ發行限  
度ヲ五千萬圓ダケ擴張シ、之ガ資金ノ調達  
用セラレ又ハ賣却シタル者等ガ、其ノ代償

トシテ受ケル金錢ノ處分ニ付キマシテ必  
ナル命令ヲナシ得ルヤウニ致シタコトデア  
リマス、土地其ノ他ノモノヲ收用セラレ、  
又ハ賣却シタルモノ等が其ノ代償トシテ受  
ケル補償金、賣却代金等ハ概ね相當多額ノ  
臨時的收入ト認メラル、ノデアリマスガ、  
之ガ浮動化ヲ防止スルト共ニ國債其ノ他ノ  
有價證券消化ノ有力ナル源泉タラシムル  
爲、從來ヨリ此ノ趣旨ニ基キ國債等ノ購入  
勸奨運動ヲ實行シ來ツタノデアリマス、而シ  
テ現下時局ノ要請ニ基キ、右勸奨運動ハ一  
層之ガ徹底強化ヲ必要トスルノ情勢ニアル  
ニ顧ミマシテ、之ガ效果ノ萬全ヲ期スル爲、  
必要アル場合ニハ其ノ最終的手段トシテ是  
等ノ者ニ對シ國債等ノ有價證券ノ購入保有  
ヲ命ジ得ルノ途ヲ拓クコトヲ必要ト認メタ  
次第デアリマス、次ニ改正ノ第五ハ、貯蓄  
債券ノ發行限度ヲ十億圓ヨリ二十億圓ニ、  
報國債券ノ發行限度ヲ五億圓ヨリ十五億圓  
ニ擴張スルト共ニ、貯蓄債券ノ券面金額ヲ  
引上げ、報國債券ノ割増金ノ附與回數ニ開  
スル制限ヲ撤廢セムトスルコトデアリマス、  
貯蓄債券ハ昭和十二年十二月以降昨年十二  
月迄ニ二十五回ニ亘リ賣出價額ハ六億二千  
三百萬圓、報國債券ハ昭和十五年五月以降  
本年一月迄ニ十一回ニ亘リ賣出價額三億五  
千九百萬圓ヲ日本勸業銀行ヲシテ賣出サシ  
メ、更ニ本年二月二十一日ヨリ貯蓄債券賣  
出價額五千萬圓、報國債券賣出價額三千萬  
圓ノ賣出ヲナサシメルコトニナツテ居リマ  
スルノデ、今年度末ニ於ケル發行餘力ハ貯  
蓄債券ハ三億二千七百萬圓、報國債券ハ、二  
億一千百萬圓ヲ殘スニ過ギナイコトニ相成  
ルノデアリマス、然ルニ大東亞戰爭ノ勃發  
ニ伴ヒ、政府資金ノ撒布額ハ今後益々多額

ニ達スルモノト考ヘラレマスルガ、是等ノ  
上ニ於テ、是等貯蓄債券及報國債券ノ發行  
ハ極メテ有效ナル手段デアリマス、今後其  
債券ノ消化促進ニ資シマスル貯蓄債券ニ付  
テハ、現在其ノ券面金額ガ二十圓以下デア  
リマスルノヲ三十圓以下ニ引上げ、又報國  
債券ニ付テハ其ノ抽籤ハ毎年一回以上之ヲ  
行フコトトアル制限ヲ撤廢シタノデアリマ  
ス、尙貯蓄債券ノ券面金額ヲ引上げルコト  
ト關聯致シマシテ、有價證券移轉稅法中ノ  
免稅證券ニ關スル規定ヲ改正シテ、小額  
債券ノ課稅最低限ヲ三十圓以下ニ引上げル  
コトト致シタノデアリマス、最後ニ改正ノ  
第六ハ、本法ノ罰則ヲ企業許可ノ罰則ト  
權衡ヲ得セシムトスルコトデアリマス、昨  
年十二月十一日公布セラレマシタ企業許可  
令ノ違反ニ付キマシテハ、國家總動員法ノ  
規定ニ依ル罰則ニ付キマシテモ、總動員法  
ノ罰則ト權衡ヲ保タシムル必要ガアリマス  
ルノデ、本法ノ罰則ニ關スル規定ヲ改正セ  
シタ場合ノ罰則ニ付キマシテモ、總動員法  
法ハ同令ト或範圍ニ於テ同性質ノ事案ヲ對  
象トシテ居リマスノデ、本法ノ規定ニ違反  
ムト致スモノデアリマス、以上ガ三件ノ大  
體ノ御説明デアリマス、何卒御審議ノ上速  
カニ御賛成アラムコトヲ御願ヒ申上ゲマス  
○委員長 伯爵壽口直亮君：只今ヨリ國民  
更生金庫法中改正法律案ニ付テ御質疑ヲ伺  
ヒマス

ハドノ位ニナツテ居ルノデゴザイマセウカ、付テ公表ガ出來ナイト云フコトデアリマシタナラバ速記ヲ止メルトカ、或ハ祕密會トカニ致シマシテ、其ノ業種別轉廢業者ノ數ニ竝ニ實情ニ付テ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(豊田雅孝君) 數字ニ付テ申上  
ゲルコトニナリマスルト、衆議院ノ方モ祕密會ニ致シテ居リマスノデ、矢張リ同様ニ  
要シナイ御質問ガアリマシタラ、ソレカラニ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 他ニ祕密會ヲ  
カラ今日迄ノ實績ト云フコトヲ伺フコト方  
出來レバ、此ノ際數字的ノ御説明ヲ願ヒタ  
先ニ願ヒタイト思ヒマス

○子爵舟橋清賢君 此ノ更生金庫ノ始メテ  
件數デ見マシテ一千九百件バカリニナツテ  
居リマシテ、其ノ引受金額ハ九百二十萬  
圓バカリニナツテ居リマス、尙貸付價格ハ八  
百二十四萬圓バカリデゴザイマス、ソレデ  
業種ノ主ナルモノカラ申シマスト米穀販賣  
業ガ最モ件數ト致シマシテハ多イコトニナツ  
テ居リマスガ、引受價格及貸付價格ハマダ  
今ノ處サシタル金額ニ上ツテ居ラナイノデ  
アリマス、旅客自動車運輸業 是ガ件數ハ  
三百三十一件デアリマスルケレドモ、其ノ  
引受ヶマスル自動車ノ價格等カラ致シマシ  
テ引受價格及貸付價格ハ其ノ方ガズト多  
イコトニナツテ居ルノデゴザイマス、其ノ他  
「スライド・フアスナー」或ハ葉子等ニ付キマ  
シテ、矢張リ資產ノ引受、貸付ヲ既ニ致シ

ガ出來マシテ以來兎角十分ニ活動シテ居ラ  
スト云フヤウナ世間デノ批評ガアルノデ  
ニ依リマスル計畫的集團的ナ轉廢業ヲ致シ  
タモノヲ對象ト致シテ居リマスルノデアリ  
マシテ、個人的ナ商賣ノ不如意カラ致シマ  
シテバラノニ轉廢業致シタヤウナモノ  
ハ、更生金庫ノ對象ト致シテ居ラナイノデ  
アリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ兎ニ角誤  
解等モアリマシテ、色々非難ノ言葉モ出テ  
居ルヤウナ譯デアリマスガ、今後轉廢業ノ  
段々多クナル主ナル原因ハ矢張リ集團的ナ  
計畫的ナ轉廢業ト云フモノガ、今後如何ニ  
多クナルカドウカト云フコトニ依ツテ決セ  
ラレルノデアリマシテ、近來政府ノ方デモ  
整理統合計畫ヲ此ノ際急速ニ計畫的ニ進メ  
テ行カウト云フコトニナツテ居リマスルノ  
デ、是ガ段々進ンデ參リマスルナラバ相當  
轉廢業者モアルシ、又國民更生金庫モ從ツテ  
活躍スルヤウニ相成ルト考ヘテ居ルノデア  
リマス

参リマスル委員會デ具體的ノ評價ヲ致シテカラ、資產ノ引取ヲヤルト云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ資產ノ評價ガマダ更生金庫ノ設立セラレマシテ以來、サシテ日ニチモ經ツテ居リマセヌノデ、不憲レナ點モ色々アルノデアリマスルガ、最モ此ノ評價ニ迄ノ處手數ヲ要シテ居ル、デ將來特ニ此ノ評價ニ付キマシテ、成ルベク簡易ニヤッテ行クヤウニ努力致シタイト存ジテ居ル譯デアリマスルガ、評價ガ濟ミマシタモノニ對シテノ更生金庫自體ノ資產ノ引受ナク、或ハ貸付ト云フヤウナモノハ、十日前後デ敏速ニ致シテ居ルヤウナ譯デゴザイマス、尙此ノ評價力困難ナ爲ニ資產ノ引受、或ハ金融ト云フモノガ遲レルト云フヤウナコトデハ困リマスノデ、ト申シマシテ評價ト云フモノヲゾンザイニスルト云フコトモ、是亦出來ナイコトデアリマスルノデ、一應假ノ方法ト致シマシテ、評價ヲ極ク簡単ニヤリマシテ、一時的ナ金融ノ途ヲ講ズルコトヲ、私共ノ方デハ繫ギ資金ト云フヤウニ申シテ居リマスガ、左様ナ簡易ナ資金ノ貸付方法ヲ今後始メタイト云フノデ、目下準備ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス  
○子爵舟橋清賢君　只今當局ノ御説明デ大體了承致シマシタガ、今後轉廢業者ト云フモノハ益増加シテ來ルグラウト思ヒマスガ、此ノ際此ノ金庫ノ運用ニ當ツテ十分ニ圓滑ニ行クヤウニ當局トシテ監督ナリ、御指導ナリヲ遲滯ナクヤッテ戴キタイト思ヒマス、是デ私ノ質問ハ終リマス

マスカ

○政府委員(豊田雅孝君) 中小商工業者ノ  
整理統合ニ付キマシテハ、從前必ズシモ政  
府ノ方針モハッキリ致シテ居ラナカッタノデ  
アリマスガ、御承知ノヤウニ物資ノ不足、  
或ハ燃料ハ不足、更ニ最近ニ於キマシテハ  
勞働力ノ不足カラ致シマシテ、ドウ致シマ  
シテモ比較的餘剩力ヲ持ツテ居リマスル中  
商工業部面ヲ整理統合致シマシテ、ソレヨ  
リ出テ参リマスル餘剩力ヲ、ヨリ緊要ナル  
部面ニ向ケテ行カナケレバナラヌト云フ風  
ニナツテ參ッタノデアリマス、從前ハ農村方  
面ヨリ相當ニ勞働力ノ供出が出来テ居ッタ  
ノデゴザイマスケレドモ、食糧ノ増産ヲ圖  
リ、又一方青年子弟ノ農村ヨリノ供出ト云  
フコトガ、他ノ方面カラ非常ニ多クナッテ居  
リマスノデ、是以上農村方面ノ勞働力ノ供  
出ニ期待フ掛ケルト云フコトガ最早ヤ出來  
ナクナツテ参リマシタ爲ニ、特ニ最近中小商  
工業者ノ整理統合ガオカマンクナツテ參ッタ  
ノデアリマスガ、固ヨリ勞働力ノ供出ダケ  
ニ依リマシテ中小商工業者ノ整理統合ト云  
フコトヲヤッテ居ル譯デハナシノデアリマ  
シテ、從前カラ中小商工業者ノ生産配給機  
構ノ合理化ヲ出來ルダケ圖リマシテ、ソレ  
ゾレノ部門ニ於ケル能率ヲ増進致シタイト  
云フコトヲ睨ミ合セマシテ、只今進メテ居  
ルヤウナ次第デゴザイマス、其ノ結果出テ  
参リマシタ轉廢業者ヲ如何ニ處理シテ行ク  
カト云フコトニ付キマシテハ、關係方面ト  
モ色々折衝ヲ致シマシテ、萬遺憾ナキヲ期  
シテ居ル譯ナンデアリマスガ、勞働力ノ最  
モ足ラナイ方面ニ於キマシテ、直チニ此ノ  
轉廢業者ヲ受取ルコトノ出來マスル方面ニ  
於キマシテハ、住宅ナリ、或ハ初給賃銀ナ

ドル遺憾ナク措置スルコトニ依リマシテ、先ヅ以テ轉廢業者ラソチラノ方面ニ向ケテ行ケルノデアリマスガ、ソレ程ニ受取ル方ノ側ニ於キマシテハッキリ致シタ種々ノ筋ノ立ツテ居ラナイ場合ニ於テハ、整理統合ノ結果出テ参リマスル轉廢業者ト云フモノモ、一應整理統合體ノ中ヘ包含致シテ置キマシテ、將來労働力ノ必要ニナリマシテ、又ソレヲ受入レルニ適當ナヤウナ措置ノ講ゼラレル毎ニ、労働力ノ供出ヲ圖ッテ行カウト云フ措置ヲ講ジテ居ルノデアリマス、尙從前ハ實績主義ニ重キヲ置キマシテ、實績ノ少イモノヲ整理統合スルヤウナ方針デ、アツタノデアリマスルガ、只今申上ゲルヤウニ、労働力ノ供出ヲ圖ラヌナラスト云フヤウナ點モ此ノ際強クナツテ居リマスノデ、此ノ際ト致シマシテハ成ルベク活動力ノ旺盛ナ者ヲ、寧ロ轉廢業ニ導イテ行クヤウニ致シタ方ガ宜イノデハナイカト云フコトデ、只今進ンデ居ルヤウナ譯デアリマス。

○市爵裏松友光君　國民更生金庫ト密接ノ關係ガゴザイマスノデ、國民勤勞訓練所、職業指導所ト云フヤウナモノノ現狀ハドウナツテ居リマスカ

○政府委員(豊田雅孝君)　職業指導所及國民勤勞訓練所ハ厚生省ノ所管ニナツテ居リマスルガ、國民勤勞訓練所ノ方ハ東西ソレゾレ一ツツ、關東ト關西ニ置クコトニナツテ居リマスノデ、最近ソレガ愈々設立致サレス制度、換言致シマスルト云フト、完全ニマダ轉廢業ヲ致サナイ中ニ之ヲ組織化致式モ濟マシタヤウナ譯デゴザイマス、尙職業指導所ニ於キマシテハ、最近半轉業ト申シマシテ、勤勞奉仕隊ト云フヤウナモノヲ

○政府委員(豊田雅孝君)　是ハ厚生省ノ方  
カラ御答へ申シタ方ガ宜イカト思フノデア  
リマスルガ、私ノ承知致シテ居リマスル所  
デハ、職業指導所、又國民勤勞訓練所モ今  
後愈々整備擴充シテ行キタイト云フ風ニ、厚  
生省ノ方デハ考ヘモシ、又準備モ進メ居  
ルヤウニ承知致シテ居リマス  
○子爵裏松友光君　更ニモウ一  
タノイデスガ、國民更生金庫ト云フモノハ、  
前ニ大藏省所管ニナツテ居ツタノガ、今度商  
工省所管ニナルノデアリマスガ、其ノ主タ  
ル理由ハ何處ニアリマセウカ  
○政府委員(豊田雅孝君)　從前國民更生金  
庫自體ハ大藏省ノ所管ニナツテ居リマシタ  
ノデアリマスルガ、先程御答ノ中ニ申上ゲ  
マシタ評價委員會資產ノ評價委員會ノ中央  
評價委員會ト云フノガ商工省ノ所管ニナツ  
テ居リマス、又地方各府縣ニ設ケラレテ居  
リマスル具體的ノ資產評價ニ當リマスル委  
員會モ、商工大臣ノ指揮監督下ニアッタヤウ  
ナ譯デゴザイマシテ、兩方ニ先づ跨ツテ居

○子爵梅園篤彦君 轉廢業者ノ所要資金並ニ轉廢業處理ニ要シマスル所ノ所要資金並調査ハナカヽ面倒デアルト思ヒマスルガ、其ノ調査ニ當ラレマシテ、何カ基準ヲ御設ケニナッテ、其ノ基準ニ從ツテ御調査ニナッタコトト思ヒマスルガ、サウ云ッタ基準ニ付テ御説明願ヒタイト思ヒマス、又此ノ調査ノ實情ニ付テ、實際ドウ云フ風ニナッテ居リマスカヽソレモ併セテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(豊田雅孝君) 整理統合計畫ノ具體的ニ進ンデ居リマスル、例ヘバ「ガラス」デゴザイマスルトガ、或ハ磁鐵器デアリマスルトカ、陶磁器デアルトカ云フヤウナモノニ付キマシテハ、ソレヽ組合ト連絡致シマシテ、具體的ニ調査モ致シマシテ、相當確實ナル數字ガ出テ居ルト思フノデゴザイマスルガ、其ノ他ノモノニ付キマシテハマダ目下計畫ノ進ミツ、アルモノガ多イノデゴザイマス、ソレ等ハ大體ニ於テ、推定ノ數字シカ只今出テ居ラヌヤウナ譯デゴザイマス、ソレ等ノ結果ヲ綜合致シマスルト、將來更生金庫デ資產ノ引受ヲ致シマスルモノガ五億二千萬圓、ソレカラ同ジク轉廢業者ノ資產ノ中デモ、組合ニ於キマシテ將來殘存企業主體等ニ活用サセタ方ガ便利ダ、有效ダト云フヤウナモノニ付キマシテハ、是ハ組合ノ方デ資產引受ヲ致スコトニナッテ居リマスルノテ、其ノ分ガ約一億二千萬圓、更ニ組合ヤ業者相互ノ共助ニ依リマ

シテ、轉廢業者ニ對シテ、營業權ノ補償デアリマスルトカ、或ハ配給權ニ對スル補償デアリマスルトカ、更ニ生活費ノ補給等ノ爲ニ大體現金ヲ以チマンテ、是ハ年賦等ニ依ルノデゴザイマスルガ、支拂ヒマスモノガ二億五千萬見當デゴザイマス、之ヲ合計致シマスト約九億九千萬圓ニナルノデゴザイマスルガ、其ノ外ニ更ニ第七十七議會以來共助金補助ト云フ名目ノ下ニ御協賛ヲ得テ居リマスル共助補助金、一人當年額三百圓ト云フ算定基礎デ計上致シテ居リマス共助補助金ガ、十六、七年度全體ヲ通じマスルト、將來一億圓位ニナル豫定デゴザイマスノデ、九億九千萬圓ニ一億圓ヲ加ヘマシタ十億九千萬圓バカリガ、此ノ轉廢業ノ爲ニ動カサレテ行ク資金ニナルグラウト云フ推定ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス  
○秋田三一君 先程政府委員ノ御話ニ、中小商工業ノ整理統合ヲ將來益強行シテ行カウト云フヤウナ、御方針デアルヤウニ承リマシタガ、現在私共ノ郷里デアル下關地方ナドハ、現在ノ商人ノ數ヲ先づ三分ノ一位ニシヨウト云フ方針デヤッテイラッショナルヤデアリマス、先程申サレマスヤウニ、其ノ目的ガ労働力ノ餘剩ヲ出スト云フ方ノ御考デアレバ、商人ト云フ方面ニ對シテ、中小ノ商ト云フモノニ對シテハ、果シテドレゲケノ效果ガ舉ガルカト云フコトヲ疑シテ居ルノデアリマス、現在中小ニ從事シテ居ル者ハ大抵ハ第一線ノ効キノ出來ナイヤウナ、或ハ老人トカ、又工場等テモ効ケナイヤウナ、四五十歳以上ノ人間、又ハ婦人等ガ從事シテ居ルノデアリマス、是ガ現在統合セラレルト云フコトニ依ツテ、私共ノ地方ハ長ク古イ商賣ヲヤッテ居ル土地デアリマ

スガ、非常ニ困惑シテ居リマス、是等カラ  
既ニ多クハ兵隊ニ徵ラレテ居ルトカ、或ハ  
工場ニ勤メテ居ルト云フヤウチコトデアリ  
マシテ、残シテ居ル中小ノ小サイ商人ニハ、  
餘リ勞働力ノ餘剩ハ大イグラウト思ハレル  
ノデアリマス、ソレヲ無理シテ統合シテ、  
果シテ其ノ效果ガ見ガルカドウカト云フコ  
トヲ疑シテ居ルノデアリマス、若シ既ニ何カ  
數字的ニ、サウ云フ從來ノ商ニ從事シテ居  
ル者ノ整理ニ依シテ、ドノ位ノ數ガ出セルカ  
ト云フヤウナコトデモアリマシタナラバ、  
一ツ伺ヒタイト思フノデアリマス  
○政府委員(豊田雅樂君) 中小商工業者ノ  
整理統合ヲヤリマスル原因 ト申シマスル  
カ、必要性ハ、只今御話ノ如ク勞働力ノ供  
出ト云フコトガ勿論、一ツアルノデゴザイマ  
スルガ、其ノ外ニ先程モ申上ダマシタ如ク、  
中小企業自體ノ機構ノ合理化ヲ圖リマシテ、  
生産ニ付テハ勿論デアリマスルガ、配給方  
面等ニ付キマシテハ、矢張リ公定價格ノ維  
持、或ハ箇取引ノ防止、其ノ他ニ於キマシ  
テ比較的樂ニ運用ノ出來ルヤウナ機構ヲ  
作ツテ行キタイト云フコトガ、又大キナ原因  
ノ一ツニナツテ居ルヤウナ譯デゴザイマス、  
其ノ結果整理統合致シマシタ場合ニ、成ル  
ベク活動力ノ大キイ者ヲ轉廢業スルヤウニ  
導イテ行キタイト云フ風ニ、特ニ最近ニハ  
考ヘラレテ來テ居ルヤウニ思シテ居リマシ  
テ、此ノ點ニ付キマシテハ、從前カラ御承  
知ノコトカト思ヒマスガ、商業報國會ト云  
フノガ、主トシテ闇取引ノ是正或ハ防止ト  
云フコトヲ主ニ勵イテ居シタノデアリマス  
ケレドモ、今後之ヲ成ルベク青年層、或ハ  
壯年層カラ出來ル限り轉廢業者ヲ出シテ

行<sup>シテ</sup>、寧ロ足弱ナ人達ハ從來ノ部門ニ隣シテ置キマシテ、其ノ機構ノ合理化ニ依リマシテ、能率的ナ而モ適正ナ配給等ノ出來ル譯デゴザイマス、尙轉廢業者ノ見込數等ニ付キマシテハ、後程祕密會等デ申上ゲルコトニ致シタイト存ジマス。

○秋田二一君　此ノ整理組合ニ依リマシテ配給ノ圓滑或ハ又適正化ト云フコトガ、モウ一つノ目的ニナシテ居ルヤウデアリマスガ、今申サレマシタ闇取引ノ是正ト云フコトハ必ズシモ此ノ整理組合ニ依ラナイデ、モ出來ルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、公定價格ノ維持ニハ其ノ方ガ便宜ガ宜イカト思ハレルノデアリマスガ、今整理組合ノ段階トシテ色々ノ組合が出來テ居リマシテ、其ノ方デ配給ナドヲナスツテ居ラッショナルヤウデアリマス、此ノ組合ノ様子ヲ見マスト云フト、理事長トカ、其ノ事務員ガ隨分澤山殖エテ來マシテ、其ノ方ニ各商人人カラ手數料ト云ヒマスカ、組合費ト云フモノガ出サレテ居ルノデアリマシテ、此ノ組合ニ依シテ必スシモ合理化サレ易クハナツテ來テ居ラナイト云フコトヲ、多ク言<sup>シテ</sup>居リマス、又人ノ數ニ於キマシテモ事務員ナド相當多クナリマシテ、手續モ非常ニ重複シテ困ルト云フヤウナ聲ヲ聞イテ居リマスガ、或ハ過渡期デウマク行カナイ爲ニ、サウ云フコトニナシテ居ルカモ知レマセヌガ、私共ノ見タ所ノ今日迄ノ狀況デハ、餘リ其ノ目的ヲ達シテ居ナイノヂヤナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テモ政府ノ方デ今迄ニ御經驗ニナツタ所ノ實際ノ成績ヲ、御思想ト云ヒマスカ、サウ云フモノヲ御聞カセ願ヘレバ安心スルカトモ思フノデアリマス

ス、物資ノ足ラナイト云フコトニ付キマシテハ、商人ハソレゝモウ諦メテ居リマシテ、出來ル物ダケデヤッテ行クト云フヤウナ氣持ヲ持ツテ居リ、若シ出來ナカタナラバ、其ノ時ニハ統合サレテモ仕方ガナイガ、今ノ處デハマダヽ、配給スル數量ガ少クテモ、今申シタヤウナ第一線デ働カナイ人々ガ商業ニ從事シテ居ルノデアルカラ、必ズシモ之ニ依ツテ統合サレナケレバ生活ガ困ルト云フ程度ニハ達シテ居ナイヤウニ思ブノデアリマス、尙又先程ノ勞働力ノ問題ニアリマスガ、今整理統合ラスルノニ非常ニ各自モ困ツテ居リマスシ、其ノ統合ノ任ニ當ラテ居ル當事者モ、各人ノ生活ヲ脅威スル問題デモアリマスシ、非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、或ハ入用ノ人間ダケヲ先ニ徵用ヲナサルカ、或ハ割當テラレテ、サウシテ實際ソレデイケナイト云フコトニナッテ統合スル方ガ、統合スルノニヤリ宜イノデハナイカト云フヤウナ聲モアリマス、其ノ邊ニ對スル御所見ヲ承リタイト思ヒマス。

○政府委員(豊田雅孝君) 従前中小商工業者ノ統制ノ形ト致シマシテ組合ニ依ツテ參タノデアリマスガ、何分ニモ中小商工業者ト云フモノガ、從前カラ其ノ規模ガ非常ニ小サウゴザイマスシ、又其ノ數ガ非常ニ多イ點カラ致シマシテ、組合ニ依リマスル統制ト云フコトニモ自ラ限度モゴザイマスノ勿論デアリマスケレドモ、業者自體ノ數ヲ相當ニ整理致シテ參リマスルト共ニ、特定ノ商品ニ付キマシテモ検討ヲ加ヘルコトハ御指摘ノヤウニカヽウマク參ラナイ點ガ多イノデゴザイマス、ソレデ一方組合制度等ニ付キマシテモ検討ヲ加ヘルコトハ勿論デアリマスケレドモ、業者自體ノ數ヲ相當ニ整理致シテ參リマスルト共ニ、特定ノ商品ニ付キマシテドノ程度ノ賣上ガアレ

マスクノハ餘リニ數ガ多ク、又經營規模ガ小  
サイ場合ニハソコニ生活ノ安定モゴザイマ  
セズ、又本當ニ反省ヲシテ商賣ヲヤッテ行  
ク餘裕モナイ譯デアリマシテ、或場合ニハ  
非常ニ濫賣ヲヤリマスシ、或場合ニハ又逆  
ニ賣惜ミ等モ行ハレルヤウナ譯デゴザイマ  
スノデ、此ノ際中小商工業者、特ニ今御話  
ノヤウニ中小商業者ニ付キマシテハ、相  
當數ヲ減シマスト同時ニ、之ノ統合ヲ圖リ  
マシテ、物資ノ偏在ヲ防ギマスルト同時ニ、  
又公定値段ノ遵守ト云フコトモ自然導キ易  
イヤウニ持ツテ行キタイト考ヘテ居ルノデ  
ゴザイマス、徵用ニ付キマシテハ、御話ノ  
ヤウナ點ハ私共モ考ヘナイ譯デハナインデ  
アリマスガ、厚生省方面ノ意向ト致シマシテ  
ハ、徵用令ヲ出スコトガナカヽ困難ナ點  
モアルヤウデゴザイマシテ、一方配給機構  
ナリ或ハ生產機構ノ整理統合、合理化ヲ圖  
ルト云フ必要ガアルモノデゴザイマスカラ、  
其ノ方面カラ出テ參リマス相當活動力ノア  
ル轉廢業者ハ、生產力擴充方面等ヘ、徵用  
ヲ俟タズシテ持ツテ行キ得ル途ヲ考ヘタイ  
ト云フコトデ只今進シテ居ルヤウナ譯デゴ  
ザイマス

○政府委員(豊田雅孝君)　物資ノ不足ガ緩和セラレヤシナイグラウカト云フコトニ關聯致シマシテ、中ニハ整理統合ノコトモ寧ロ此ノ際見合セタラドウカト云フヤウナ說モアルヤニ私共聞イテ居リマス、併シナガラ御承知ノヤウニ南方作戦ニ於キマシテ赫赫タル戰果ヲ擧ゲテ居リマスルケレドモ、此ノ資源ヲ開發致シマスル爲ニモ、相當ノ時日ヲ要シマスノミナラズ、之ニ要スル資材、勞働力ト云フモノモ大變ナモノデアリマスルシ、又之ヲ第一輸送致シテ參リマスルニ付キマシテモ、船舶或ハソレニ伴フ勞働力ナリ、資材ト云フモノヲ要スル譯ニアリマスルノデ、物資ノ不足ヲ緩和セラレルト云フコトヲ此ノ際期待致シマスルコトハ、時期少クトモ尙早デアリマスルシ、斯様ナ考ヲ以テ進ミマスルト云フコトハ、廳テ其ノ期待ガ裏切ラレルト云フコトカラ失望感ヲ招クト云フヤウナコトニモ相成リマスルノデ、非常ニ危險ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、更ニ將來東亞ノ新秩序ヲ確立シ、更ニ之ヲ維持致シテ參リマスル爲ニハ、愈々以テ國防ノ整備擴充ト云フコトモ必要ナノデアリマシテ、其ノ方面ニ於キマスル生産力ノ擴充ト云フコトハ、今後一層矢張リ重點ヲ置イテ行カナケレバナラヌグラウト思ハレルノデアリマス、尙輸出品ニ付キマシテモ、纖維品デアリマストカ、或ハ雜貨ノ如キモノニ付キマシテハ、從前カラ大體ニ於キマシテ南洋方面ニ於キマシテモ、日本ガ有利ノ地位ヲ占メテ來テ居ツタノデアリマスカラ、中小商工業ノ整理統合ノ結果、之ヲ合理化シテ行クコトガ出來マスレ

バ、織維品或ハ雜貨ノ如キモノノ輸出ニ付  
キマシテハ、支障ヲ感ジナイグラウト思フ  
ノデアリマス、少クトモ現在原料ト云フモ  
ノヲ考慮ノ外ニ置キマスナラバ、設備ナリ、  
勞働力ニ付キマシテハ、左様ナ懸念ハ要ラ  
ナイノデヤナイグラウカト思フノデアリマ  
スルガ、之ニ反シマシテ、機械デアリマス  
ルトカ、或ハ化學藥品デアリマスルトカ云  
フヤウナ工業品ト云フモノハ、今後南方方  
面ニ對シテ、矢張リ供給致サナケレバナラ  
ヌノハ日本ナノデアリマスルカラシテ、是  
等ノ方面ニ對スル今後ノ日本ノ產業ノ再編  
成ト申シマスルカ、產業ノ切替ガ必要ニナッ  
テ來ルグラウト思フノデアリマス、是等ノ  
點カラ考ヘマシテ、今後一層中小企業ノ整  
理統合ト云フコトハ考ヘテ行カナケレバナ  
ラヌグラウト左様ニ考ヘテ居ル譯デアリマ  
ス

シタニ件ヒマシテ、是ハ商工大臣ヨリ大藏大臣ニ協議ヲ致シマシテ、決定致スト云フコトガ、商工大臣ノ更生金庫所管ノ關係、更ニ損失補償ノ財政的關係ニ於キマシテ、大藏大臣ニ關係ヲ生ジマスルノデ、協議致シテヤルト云フコトニ改メヨウトシテ居ルヤウナ次第アリマス。

○松村眞一郎君 私ハ唯勅令ヲ改正シタラソレデ宜シイト云フヤウナ御議論デハ困ルト思フ、ドウ云フ譯デ商工大臣デナケレバナラヌカト云フコトヲ私ハ伺ッテ居ルノデス、此ノ參考資料ヲ拜見致シマスト、例ヘバ全國商業組合調ト云フモノヲ見マスト、第一頁ニ書イテアリマス、米雜穀類、蔬菜果實類、水產物類、一番初ニ書イテアリマス、鷄卵鳥獸肉類、酒類、調味料、清涼飲料類、菓子麵匏類、牛乳類、豆腐類、其ノ他飲食料品類、肥料類、飼料類ト云フノガアリマス、是等ハ總て商工省ノ所管ヂヤナイ、農林省ノ所管ナンデス、其ノ次ノ頁ヲ見マスト、農機具ト云フモノモアリマス、度量衡ト云フモノモ必ズシモ商工省ヂヤナイ、併シナガラ度量衡ノ行政ハ商工省ヂオヤリニナツテ居リマスガ、度量衡ヲ使フノハ必ズシモ商デヤナイト思フ、其ノ次ニ皮革類ト云フノガアル、藥品ト云フヤウナコトニナツテモソレハ兩方アル、疊表トカ薬品は農林省所管、木材竹材類モサウ、ソレデ尙國民更生金庫業務概況ト云フモノヲ、茲ニ昭和十六年十二月二十九日現在ト云フノデ御配付ニナツテ居リマス、其ノ一番初ニ何ヲ書イテアルカト云ヘバ、資產引受業務トシテ先づ掲ゲテアルノハ、米穀販賣業、是ハ農林省所管、旅客自動車運送業、是ハ鐵道省ノ所管、其ノ他ト云フ所ヲ見ルト、今

迄ヤツテ居ルモノハ商工省ノコトハ一ツモナイ、ソレデアリマスカラ商工省ノ所管デアルト云フ理由ガ私ハ分ラナイト云フノデス、今申シマシタ書類ノ一番終ヒニモ菓子工業ト云フノガアリマス、是モ農林省ノ所管ダラウト思ヒマス、工業デアルカラ直グ商工省ニナルノデヤナイノデ、農産物ハ農林省ノ所管ニナツテシマッテ居ル、ソコデ業務大臣ト云フコトハドウ云フコトデ主務ト云フコトニ入ルノガ合理的ナリトシテ御考ニナツテ居ルノダト云フ點ヲ私ハ御伺スル、ソレハ若シ國民ノ更生ト云フコトヲ考ヘラレルナラバ、或ハ内務省カ厚生省デ私ハ宜カラウト思フ、ソコデ整理統合スル、サレル所ノモノガ工業デアルト云フナラ商工省ノ所管デ私ハ宜カラウト思フ、整理統合其ノモノノ、ソレ自身ノ中ニ農林省ノ所管ノモノアレバ、鐵道省ノ所管ノモノモアル、ソレヲ自動車ノ資產ノ査定ヲスル、オ米屋ノ資產ノ査定ヲスルト云フコトハ商工省デヤ分ラナイコトデ、分ラナイコトヲ云フコトニスルト云フコトガ私ハ分ラヌト、斯ウ云フノデス、若シ更生策ノ方ヲ言ヘバ、サウ云フ者ヲ轉廢業サセテ、ソレカラ何カニ更生サセルト云フ更生策ガ、商工省所管ナラ、是ハ商工省所管デ宜シイ、轉廢業シタ後デ、ソレヲ工業ノ勞働ニ提供スルノデアル、或ハ商工省所管ノ工業ニ從事セシメテシマフト云フコトデアルナラバ、更生策ノ又商工省所管デアルト云フトニ於テ、私ハ意味ガアルデラウト思フ、是ハ今ノヤウデアレバ、商工省所管ニスルト云フ理由ガ私ハナイト思フ、私ハ唯近頃官廳間ノ權限ノ色々ナ動キガアル、其ノ一ツノ動キデ、事務ノ都合デ、繁閑トカ何ト

カ云フコトデ、簡單ニ所管ヲ動力サレルト、私ハ行政ノ監督責任ト云フモノモ、統制ヲ系スト思フ、例ヘバ最近行ハレタ保険事業ヲ舉ゲテ大藏省ノ所管ニサレタ、私ハ商工省ニナルノデヤナイノデ、農産物ハ農林省ノ所管ニナツテシマッテ居ル、ソコデ主務大臣ト云フコトハドウ云フコトデ主務ト云フコトニ入ルノガ合理的ナリトシテ御考ニナツテ居ルノダト云フ點ヲ私ハ御伺スル、大藏省ノ金融ニチットモ關係ガナイ、一年一年デ責任準備金ハ崩シテ行ク、其ノ保険ト云フ名前ガアルカラ損害保険モ生命保險モ兩方大藏省デヤルト云フコトハオカシイ、サウ云フコトヲヤツタカラ、入レ合セニ更生金庫ノ仕事ハ商工省ニ移スノダト云フ考デハナイト思ヒマスケレドモ、サウ云フヤウナコトデヤラレタノデハ、合理的ノ責任ト云フモノノ歸屬ガ私ハナクナルト思フ、國民モ何處へ行ッテ懇ヘテ宜イカ分ラナクナルカラ、私ハ更生金庫ノ方ノ主務大臣ガ今モ勅令デ定メテ居ルト言ハレマスケレドモ、ソレガ合理的デアルカラト云フコトヲ私ハ……今モ申シマシタヤウニ、自動車ノ問題、米屋ノ問題、ソレヲ商工省デ引受ケテヤラレマスカ、ソレヲ私ハ御尋ねスルノデス

○政府委員(豊田雅孝君) 只今御話ノ如ク、更生金庫ノ對象ニナツテ居リマス業種ハ、商工省所管ノ外ニ農林省所管ノモノモ、其ノ他ノモノモアル譯デゴザイマス、要スルニ廣イ意味デノ中小商工業者ト云フモノガ轉廢業致シマシタ場合ニ、國民更生金庫ノ對象ニナリ得ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、併シナガラ中小商工業ニ限りマセズ、中小商工業問題ニ付キマシテハ、其ノ總括的ナ事務ヲ從前ヨリ商工省ガ所管

致シテ參ツテ居ルノデアリマシテ、例ヘテ申シマスルト、商工組合中央金庫ノ如キモノモ、ソレノ貸出ノ相手方ニナリマスル者ハ、商工省所管ノ業者ノミナラズ、農林省ノ所管ニ屬シテ居リマスル食料品關係ノ業者デアリマスルトカ、或ハ菓子ノ業者デアリマスルトカ云フモノモ、矢張リ商工組合中央金庫ノ貸出ノ對象ニナツテ居ルノデアリマスルガ、是ガ商工省ノ所管ニナツテ居ルヤウナ譯デゴザイマス、尙從前カラアリマシタ更生金庫ニ關聯致シテ居リマスル資產ノ評價ニ關シマスル中央委員會デアリマスルトカ、或ハ資產ノ評價ニ關シマスル地方委員會、之ノ資產評價ノ對象モ農林、商工兩省ニ跨ル業者ノ資產ヲ評價致シテ參ツテ從前カラ居ツタノデアリマスルガ、ソレニ付キマシテモ總括的ナ事務ヲ商工省ニ取扱フト云フ趣旨カラ致シマシテ、商工大臣ノ所管ニ之ヲ屬サシテ居ツタヤウナ譯デゴザイマスノデ、今回國民更生金庫ニ付キマシテモ、其ノ施設ト致シマシテハ、中小商工業者關係全般ニ利用ナセルト云フ共通的ナ施設ト云フ點ニ考ヲ致シマシテ、商工大臣ノ主管ニ致シタヤウナ次第デゴザイマス

○松村眞一郎君 話ハ、從來サウサレテ居タカラト云フノデアレバ、改正ノ理由ハナイ、茲ニ改正サレルノハ、從來ヤツテ居ナカッタノヲヤルノガ改正デセウ、從來斯ウヤツテ居ツタカラ、斯ウヤルト云フヤウナ…商工金庫ノ評價ノコトハドウデアルト云フ議論デアレバ、從前ヤツテ居ル大藏大臣ノ儘デ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ議論ニ居ツタノデアリマス、其ノ評價委員會ノ評價ニ從前シテ之ニ金ヲ貸シテヤル、或ハ買取ツタ資產ヲ處理スルト云フヤウナコトハ主トシテ更生金庫ノ仕事デアツタノデアリマス、今申上げタ通リデアリマスガ、中小商工業ノ再編成、整理統合ト云フモノ、サウ云フ結果ニナツテ居リマス、ソレデ經過ハ只資產ヲ處理スルト云フヤウナコトハ主トシテ更生金庫ノ仕事デアツタノデアリマス、今申上げタ通リデアリマスガ、中小商工業ノ樹立致シマシテ、其ノ結果ヲ處理スルト

資產ヲ評價スルト云フコトハ、概括的デナイ、其ノ業態ソレ自身ノ内容ニ入ラナケレバ分ラナイ、ソレハ商工省ハ平生監督モ何モシテ居ナイ、サウ云フコトハ合理的デナイト云フコトヲ言フ、現在斯ウヤツテ居ルカラト云フノナラバ、現在ヤツテ居ル通リデ改正スル必要ハナイ、ヤツテ居ルト云フコトヲ

私伺ッテ居ルノデヤナイ、ソレデ責任ガ執レルカト云フコトヲ伺ツテ居ル、責任ヲ執レルト云フノデアレバ、私ハ結構デアリマス、ナイト云フコトヲ言フ、現在ヤツテ居ル通リデ改正スル必要ハナイ、ヤツテ居ルト云フコトヲ

私伺ッテ居ルノデヤナイ、ソレデ責任ガ執レルカト云フコトヲ伺ツテ居ル、責任ヲ執レルト云フノデアレバ、私ハ結構デアリマス、ナイト云フコトヲ言フ、現在ヤツテ居ル通リデ改正スル必要ハナイ、ヤツテ居ルト云フコトヲ

セウケレドモ、併シ今ノヤウナ御話デアルナラバ、商工省ハ食糧品ナリ、菓子ノコトハ農林省ニ協議スレバ宜イ、協議セズシテヤルコトハ、單獨ニヤルコトハ、第三十七條三項ノ規定ヲ見テモ、大藏大臣ニ協議スルト云フ所ノ親切心ガアルナラバ、サウ云

ヤルコトハ、單獨ニヤルコトハ、第三十七條三項ノ規定ヲ見テモ、大藏大臣ニ協議スルト云フ所ノ親切心ガアルナラバ、サウ云

云フ機關デアルノデアリマシテ、一應ハ大藏省所管下ニ之ヲ委任シテモ差支ナイト云  
フ判斷ノ下ニ大藏省所管ニシタノデアリマスケレドモ、ヤツテ見マスト云フト、是ハ全  
ク紙ノ裏表ノヤウナ關係ニナツテ居リマス、矢張リ産業政策ヲ實行スル一ツノ特殊ノ金  
融機關デアルカラ、資產評價或ハ整理再編  
成ト云フヤウナ問題ヲ總括シテ所管スルト  
コロニ之ヲ附設スルノガ適當デアルト云フ  
ノガ、今度ノ改正ノ要點デアリマス、デ唯  
商工省ノ所管ニ屬スル中小商工業モアリマ  
スガ、農林省又ハ鐵道省ノ監督下ニアルモ  
ノモアリ、ソレヲ總括シテ商工省ガ資產評  
價ノ問題ヲ處理シ、或ハ又其ノ結果ニ基イ  
テ更生金庫カラ金ヲ貸スト云フヤウナ問題  
ヲ商工省ガ統轄シテ、果シテ然ルベキモノ  
デアルヤ否ヤト云フ御疑問デアルト思フノ  
デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ只今  
申上ゲマス通り、更生金庫ソノモノノ移管  
デナシニ、サウ云フ問題ヲ評價其ノ他ノ處  
理ヲスルノハ從來カラ商工省ニアツタノデ  
アリマスガ、ソレハ改正スル必要ヲ認メナ  
カツタノデアリマス、ト申シマスノハ自動車  
運輸業者ノ資產評價或ハ菓子屋ノ店仕舞ヲ  
スルモノニ付テ評價スル、其ノ他飲食料工  
業ソレ等ヲ評價スル際ニ於キマシテハ、一  
應其ノ統轄官廳トシテハ商工省ガヤリマス  
ガ、關係ノ官廳ノ職員ハ其ノ中ニ採り入レ  
マシテ、十分ニ其ノ意見ヲ徵スル、サウン  
テ之ヲヤツテ居ルノデアリマシテ、是ガ各省  
ニ分屬スルト云フコトヨリモ矢張リ一ツノ  
統合的ノ組織ノ下ニヤルノガ適當デアル、責任  
ハ執レルカトノ御話デアリマスガ、大體其

○ 桜村眞一郎君 私、意見ニナリマスカラ  
サウ云フコトヲ圓ハスノハ如何カト思ヒマス  
ガ、商工省ハ今日テハ商ト云フコトハ殆ドヤッ  
テ居ナイ、ソレハ商工省ノ名前ハ商ト云フコト  
ガアリマスケレドモ、官制ヲ引繰リ返シダ  
場合ニ於テ商ト云フコトハ殆ドナイ、商ハ  
二ツニ分レタ、先達テ農業ニ關スル商ハ農  
林省ニ行ツテ居ル、總括ノ外ニ商ノ内容ノ各  
論のノコトハ矢張リ外ノ省ガヤッテ居ルコト  
ハ明瞭デアル、各論カラ總論ニ入ル譯ニアリ  
マスカラ、自動車トカ菓子業トカ米穀業ト云  
フコトハ矢張リ業態ノ内容ヲ知ラナケレバ  
イカヌヂヤナイカト云フコトヲ申スノデア  
リマス、責任ハ執レルト仰シヤル、出來  
ルダケ執ツテ戴キタイト思ヒマスケレドモ  
色々關係ノ官廳ノ職員ヲ採り、入レテヤッテ  
居ルト云フコトヲ言ハレマスガ、採リ入レ  
テヤツタ以上ハ商工省ノ人ニナッテシマフ、  
サウ云フコトテナク、農林省、鐵道省、  
商工省トシテ責任ヲ負ハセル必要ガアリマ  
スガ、共同ニシテ之ヲヤッテ行ク必要ガア  
ルト云フコトヲ言ツテ居ル、中小商業ノ問  
題ノミヂヤナイ、中小商工業者ダケヂヤナ  
イ、今度ノ轉廢ト云フノハ、更正金庫ト云  
フノハ、商工業ダケヂヤナイ、非常ニ範圍  
ガ廣イノデス、此ノ點ヲ能ク御了解ヲ願ヒ  
アリマスケレドモ、實ハ私共外觀カラ眺メ  
テ居リマスルト、整理統合ニ急ニシテ、後  
ノ始末ト云フモノニ私ハ遺憾ガアルト思  
フ、ソレハ色々ナモノガ出來テ居リマス、

商業組合ト工業組合トカ、統制會ト云モノガ、其ノ監督ト云フモノハ不行届デアレドモ、自カラ統制シテ居ルヤ否ヤト云フ團體ガ、餘リニ不統制デアルト云フコトヲ私ハ申上ゲテ宜カラウト云フ、ドウ云フ程度ニ監督ヲナサイマスカ、會計検査ハドウ云フ程度ニヤラレタカ、ソレヲ一言御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(豊田雅孝君) 組合ニ對シマスル會計ノ監査ニ付キマシテハ、商業組合中央會、或ハ工業組合中央會ニ自治監査ニ關スル補助金ヲ交付致シマシテ、組合ノ監査ニ其ノ中央團體デアル所ノ商業組合中央會、或ハ工業組合中央會ニ當ラシテ居ルヤウナ譯デアリマス、更ニ役所ノ方デ監査ヲスル必要ガアル場合ニハ、役所ノ方デモ之ノ監査ニ當ルヤウニ致シテ居ル譯デゴザイマス

○松村眞一郎君 役所ニ於テ監督ノ必要ガアル事態アリト認メラレタコトハナイノデスカ、從來役所ハ監督サレナイノデスカ、自治監査ノミニ委セルト云フ制度ハ私ハ宜クナイト思フ、自治監査ト云フノハ產業組合ノ真似ヲサレタノデス、產業組合ハ自治監査ヲヤリマスケレドモ、同時ニ產業組合ノ職員ガ農林省ニ居ヅテ、定時臨時ニ監査ヲシテ居ル、商工省ハ定時臨時ニ監査サレタコトガアリマスカ、監査ノ件數ハドノ位ナサイマシタカ、今日隨分澤山ナ組合ガ出來テ居ル、今日迄何回監査サレタカ、サウ云フ

○政府委員(豊田雅孝君) 組合ニ對シマシテ、補助金等ヲ交付シテ居ル關係モゴザイマスルノデ、之ノ監査ニ付キマシテハ毎年工業組合、商業組合中相當數ノ組合ニソレゾレノ職員ヲ派遣致シマシテ、監査ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス  
○松村眞一郎君 其ノ監査ハ今迄ドノ位サレタカ、監査ノ結果ドウ云フヤウナ戒告ト申シマスカ、云フヤウナコトヲヤラレマシタノデスカ、サウ云フコトヲ委員會ニ御報告願ヒタインデス、何カ調書ガアルデセウ、組合ノ數ガ是ダケアル、之ニ對シテ政府ハ何度監査シテ居ル、又監査ノ方針ハ斯ウ云フ方針デアル、監査方針ガアル筈デス、監督スル以上斯ノ如キ監査内規ニ依ツテ實行スル、或ハ其ノ結果斯クノ如キ戒告ヲ加ヘルト云フヤウナコトガアルダラウト思ヒマス、サウ云フコトヲ御報告願ヒタイ、私ガ斯ウ云フコトヲ申シマスノハ、色々統制整理、整理統合サレマスト云フト、整理統合サレテ生レタ人ノ新シイ團體ハ實ハ好イ顔ヨンテ居ルト云フノガ大分アル、サウシテ或ル意味ニ於テ自肅ヲ怠ツテ居ル、自分ダケハ幹部ニナツチ却テ統合ニ依ツテ自ラガ更生シテナイ、サウ云フ事例ガアルノデスガ、能ク御考ヲ願ヒタイ、若シ從來ヤツテ居ラナケレバ、サウ云フ調書ヲ此處ニ出セト言ツテ御困リニナルヤウナ、困ラセル爲ノ委員會デヤナイ、斯ウ云フコトガアル、中商工業ト云フヤウナコトニ從事シテル人ハ、物ヲ言フコトノ非常ニ下手ナ人ガアル、

時勢ニアリマスカラ其ノ通り致シテ居リマスト、御  
スト云フ聲ガアル、其ノ御時勢ト云フ聲ノ  
中ニハ、色々ナ意味ガアリマス、ソレハ能  
テ居ル所ニ非常ニ御氣ノ毒ナコトガアル、  
我々ガ考ヘナケレバナラヌコトガアル、ソ  
レハ無論警察デナカノ言論ヲ抑壓スル、  
政府ガ或案ヲ提案サレルコトガアル、其ノ  
案ヲ提案サレル前ニ、民間ノ議論ヲ十分ニ  
御聞キニナツテ居ラナイコトガ相當アル、出  
シタ以上ハソレデヤルトスウ云フノデス、  
ソレニ何カ斯ウ云フヤウニ改メテ貰ヒタイ  
ト云フヤウナ意見デモ述べルト云フト、國  
策ニ反スルモノデアルト云フ如キコトヲ言  
ハレテチヨット來イト云フヤウナコトガア  
ル、私ハサウ云フ目ニハ遭ツテ居リマセヌ  
ケレドモ、當業者ハサウ云フ人ガアル、  
事例ヲ申セト仰シヤレバ、私ハ事例ヲ持ツ  
テ居リマスカラ直グニデモ申上グマス、サ  
ウ云フヤウナコトハ非常ニ無理ニ……私  
ハ無理ニト云フツテ宜シイ……得心サゼナイ  
デ進ンデ行カレルト云フコトヲヤラレタナ  
ラバ、非常ニ失業シタ方ニ氣ノ毒ナコトガ  
アル、ソレカラ更生先ノ問題デス、行先ノ  
分ラナイ者ハ、一應統合ノ中ニ入レテ置ク  
ト云フ御詰デアリマスガ、行先ノ分ラナイ  
場合ニハ急イデ統合スルコトハ私ハ宜クナ  
イト思フ、今日遼ンデ居ル國民ガ生ズルト  
云フコトハ私ハ非常ニ宜クナイト思フ、若  
シ行先ガ分ラナイヤウナ場合デアルナラバ、  
其ノ行先ト並行シテ整理統合ヲオヤリニラ  
ストイカヌト思フ、先程ノ御説明ニ依ルト云  
フト、勤勞奉仕カ何カヤツテ一週間ニ一度カ二  
度練習サセルト云フヤウナ御話デアリマス

ガ、ソレデハ一週間ノ一度カ二度カノ外ノ時ニハ遊ンデ居ルト云フコトニナル、元來現在ノ經濟組織ノ必要上色々ナモノガ生レテ居ル、整理統合スルコトハ必要デアリマセウ、併シナガラ現在色々ナ小サイ産業者ノアルト云フコトハ、經濟事情ガ必要トシテ云ツテ宜シ。イト思ヒマス、机ノ上デ何カ案ヲ立テラレテ、直グソレヲ實行サシテヤルヤウナコトヲサレテ居ツタノデハ、黙ツテ居ル當業者ノ心持ト云フモノヲ十分了解シテ居ラレナイト私ハ思フ、サウ云フ意味ニ於テ申上ゲルノデアリマスカラ、私ノ申シタコトヲ直チニ私ハ答辯ヲ求メマセヌ、尤ダト思ツタラソレヲ御實行願ヒタイ

○政府委員(豊田雅幸君) 先程御話申上ゲタ點ニ付テ多少私ノ方デ補足申上ゲテ置イタ方ガ宜イカト思ヒマスノデ、其ノ點ダケガ萬事ニ付キマシテ遺憾ナキヤウニ致シマスルコトハ勿論デアリマシテ、ソレニ付キマシテハ、將來地方長官ヲ中心ト致シマシテ、整理統合及職業轉換ニ對スル協議會ト云フヤウナモノガ出來ル豫定デアリマス、之ニ付キマシテハ、治安ノ關係モゴザイマスノデ特ニ警察部長トカ、或ハ所管ノ關係カラ致シマシテ經濟部長、勞務動員ノ關係カラハ學務部長ト云フヤウナ風ニ、地方長官ニ責任ヲ以テ此ノ重要ナル問題ヲ解決シテ貰フ爲ニ關係官ハ暫クソレニ集中動員シテ者、及關係組合ノ有力者等ヲ打ッテ一丸ト致

シマスルソレ／＼ノ府縣下ノ協議機關ヲ設ケル豫定デゴザイマス、ソコデ整理統合ニ具體的ノ方策デアリマストカ、或ハ轉廢業先ヲ如何ニスルカ、其ノ待遇ヲドウスルカト云フコトモ、其ノ席ニ於テ地方長官ガ申心ニナッテ、本腰ヲ入レテヤッテ行クヤウナ建前ヲ作ル方針デ進ンデ居ル譯デアリマス、更ニ整理統合ヲ致シマシタ際ニ、勤勞奉仕隊等ヲ作シテ、勤勞奉仕ヲスルト云フコトモハ、勿論ヤルノデアリマスガ、ソレダケデハナインデアリマシテ、統合ヲ致サレマシタ新シイ機構中デ、其ノ過渡期ニ於キマシテ相當手數モ要シマスノデ、從前ノ仕事ニ從事シテ居ツタ人達ガ、其ノ方面ニ於テ過渡期ニハ相當ノ仕事ヲヤッテ、新シイ機構ヲ育成致シテ行ク必要モアリマスノデ、一方勤勞奉仕隊ト云フヤウナモノヲ作シテ、殷賑産業ノ部面ヘ行ギテ勤ク、其ノ中ニ地方長官ヲ中心ト致シマス協議機關デハ、下部機構ニナシテ居リマス組合々々ノソレ／＼ノ具體案ニ基キマシテ、相當ノ措置ガ講ゼラレルコトニ相成リマスノデ、比較的圓滑ニ事ガ運ンデ行キ得ルヤウニナルダウラウト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、御詫ノゴザイマシタ組合監査ノ實績等ニ付キマシテハ、出來ル限り取調べマシテ、資料ト致シマシテ差上ガルコトニ致シマス

合ガアルト思フ、ドウ考ヘテモ缺點ガアル、モノハアルデセウ、サウ云フ場合ニハモウ忌憚ナク民間ノ意見ヲ御聞キニナッテ改メキコトハ速カニ改メラレルト云フコトノ態度ヲ執ツテ戴キタイ、サウシナイト、非ヲ貫カレルコトガ官廳ノ威信デアルカノ如キ感ガアルコトガ往々行ハレテ居ル、ソレヲ餘程御考ニナラナイト、斯ウ云フ時勢ニハ尙更必要デアルト思ヒマス、或案ヲ立テラレテ進行サレテ居ル途中、ドウモイケベイド思ヒマジタラ、自分ノヤツテ居ルコトが間違デアルト感ジマジタラ、直グ改メラレルヤウニシテ戴キタイ、近頃役人ノ責任ガ問題デナイト云フコトガアリマスカラ、ソレコソ本當ノ官廳ノ威信ト云フノハ、改タルコトノ速力ナルコトノ方ガ眞ノ官廳ノ威信ニナルト思ヒマスカラ、サウ云フ所ハ餘程御考ヲ願ヒタイ、サウ云フ問題ニ付テドウ云フヤウニ考ヘテ居ラレマスカ、今迄ヤツテ居ル途中デ改メタラ宜イト云フヤウナコトガアツタグラウト思ヒマスガ、サウ云フ時ノ度ハドウデスカ

○子爵梅園篤彦君 説明ヲ伺ヒマシテ大體諒承致シタ次第アリマス、併シ其ノ基準ニ付テノ御答辯ガナカツタモノデゴザイマスカラ、祕密會ニ入ッテ伺ヒタイト思ツテ居リマシタラ、只今國民更生金庫引受資產等ノ評價方法基準、土地及建物ノ評價基準、其ノ他ノ資料ヲ戴キマシタノデ、大體是亦了承致シタ次第ニアリマス、併シ國民更生金庫ノ性質上、其ノ實際ノ評價ノ取扱ニ當リマシテハ相當手心ヲカラ戦争ト云フ風ニドンヽ发展シテ參リマシテ、時價ノ變動モ相當激シ際デアリマスカラ、其ノ時價ヲ以テ評價スル場合ニ、其ノ手心ト云フモノガ非常ニ影響スルンヂヤナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、仍テ國民金庫ノ性質上、此ノ轉廢業ノ性質上、普通銀行カラ金ヲ借りル、其ノ場合ニ其ノ擔保ヲ評價スルト云フヤウナ、普通常識ヲ以テノ評價ハドウダラウカ、特ニ何カノ温カ味ヲ以テ評價シテヤルト云フノガドウダラウカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ政府ハドウダラウカ、特ニ何カノ温カ味ヲ以テ評價シテヤルト云フノガドウダラウカト思フノデアリマスカラ、十分ニ温情者ノ資產評價アリマスカラ、尚此ノ評價基準ノ實際ノ適用ニ付キマシテモ、御指摘ノヲ加味シテ作ラレテアルコトハ御一覽ヲ願ヘバ明瞭ダラウト思ヒマス、尙此ノ評價基準ノ實際ノ適用ニ付キマシテモ、御指摘ノモノノ作成ニ當リマシテモ、事柄ガ轉廢業者ノ資產評價アリマスカラ、十分ニ温情

如ク唯從來ノ銀行、金融機關等デヤルヤウニ全ク冷靜ナ評價ヲスルコトナク、其ノ狀況ヲ十分ニ參酌シテ、出來ルダケ溫ミ味ヲ加ヘテ行クコトニシタイト考ヘテ居リマス○男爵八代五郎造君 是ハ資產評價ト云、フコトデアリマシテ、負債ノ評價ト云フコトガアリマセヌノデアリマスガ、是ハドウ云フ風ニ御取扱ニナツテ行クノデゴザイマセウカ、轉廢業スル時ニ資產ト負債ガ「バランス」シテ居ル時ニハ身體一ツデ労働者ニナリ下ルコトモ出來ルト恩ヒマスガ、負債ノ方ガ多カツタ時ニハ、誰ガ此ノ負債ヲ整理スルカト云フコト、之ヲ一ツ承リタイト思ヒマス、ソレカラモウツ全ク別ノコトデ絶滅シ歸スルト云フヤウナコトガアリハシナスガ、轉廢業スル者ノ中ニハ、我ガ國ノ最モ得意トスル美術工藝ニ從事スル者モ相當アルト思フノデス、是等ハ全然之ニ依テ絶滅シ歸スルト云フヤウナコトガアリハシナイカト思フノデアリマス、之ニ對スル保護トカ或ハ何カ保存ト云フヤウナコトヲ御考ヘニナツテ居リマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタ伊ト思ヒマス

○政府委員(豊田雅孝君) 轉廢業者が從前  
債務ヲ負擔致シテ居リマシタ其ノ條件ニ應  
ジマシテ、更生金庫ガ之ヲ引受ケテ行ク建  
前ヲ原則ト致シテ居ルノデアリマス

○男爵八代五郎造君 具體的ニ申サレマス  
トドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(豊田雅孝君) 具體的ニ申シマ  
スト、轉廢業者ガ債務ヲ負擔致シテ居リマス  
ル場合ニ、其ノ債務ヲ返還スル期間ガ何時  
ニナルカ、或ハソレノ利子其ノ他支拂條件  
等ヲ其ノ儘更生金庫デ其ノ條件ヲ引受ケテ  
參ル建前ニ致シテ居リマス

○男爵八代五郎造君 私ノ心配スル點ハ、  
轉業ニシタ爲ニ、慣レナイ仕事ニアッテ一  
層此ノ負債ヲ償還スル期間ガ延ビルトカ、  
或ハ惡クスルト全然見込ノナイト云フヤウ  
ナコトガ起リハシナイカト思ハレルノデス、  
此ノ場合其ノ負債ヲ金庫ガ肩替リサレテ、  
其ノ負債ガ何時迄永續サレルカ、或ハ又或  
期間ニソレヲ帳消ニスルトカ云フヤウナ温  
情主義ヲ用ヒラレルカドウカ、斯ウ云フ點  
ヲ伺ヒタイノデス

○政府委員(豊田雅孝君) 其ノ點ニ付キマ  
シテハ、更生金庫ガ資産ヲ轉廢業者カラ引  
受ケテ居リマスノデ、其ノ資産引受ノ限度  
ニ於テ債務ノ引受ラシテ行クト云フコトニ  
ナッテ居ル譯デゴザイマス

○男爵八代五郎造君 私ノ申上げ方ガ惡イ  
爲デスカ、十分了解ガ出來ナイノデゴザイ

マスガ、モウ一度繰返シテ申シマスガ、資産ト負債ト「バランス」シテ居ル時ニハ、一介ノ労働者トシテ身體デ生活ヲ立テルト云フコトモ出來マセウガ、負債ノ多カツタ時ニ、ソレヲ精算シテ其ノ負債ヲ金庫ノ方デ肩替リストスレバ、其ノ負債ハ何時ノ日ニ皆済ガ出來ルカト云フコトヲ私ハ心配スルノデス、負債ヲ返ス能力ノアル見込ガアレバ、是ハ何時カハ返済スルコトガ出來ルト思フノデスガ、ソレガ慣レナイ仕事ニ轉業シタ爲ニ返ス見込ガナイト云フ時ニハ、其ノ見込ノ付ク迄金庫ガ其ノ負債ヲ債權者ニ背負ッテ居ラレルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(豊田雅孝君) 債務ヲ引受ケマスル其ノ限度ハ、原則トシテハ先程申上ゲマシタヤウニ資産引受ノ額ノ限度内ニナルト思ヒマス――

○男爵八代五郎造君 其ノ點ナノデスガ、慣レナイ仕事ニ變ツタガ爲ニ、將來返済スルコトノ出來ル見込ノアルヤウナ負債デモ、轉業ノ爲ニ返スコトガ出來ナイヤウナ狀態ニナルト云フコトガアリ得ルト思フノデス、現ニ私共サウ云フ心配ニ直面シテ居ルノデゴザイマス、此ノ點付テ金庫ガドノ點迄援助ヲ與ヘラレルカ、單ニ資産ト負債トヲ精算シテ見テ、殘リノ分ハ勝手ニ返スト云フノデハ、轉業シタ者ハ立ツ瀬ガナカラウト思フノデアリマス、其ノ點如何デゴザイマシ尙其ノ資産評價ノ外ニ營業純益ヲ見マシ

○政府委員(豊田雅孝君) 資産ノ評價ニ付キマシテハ、先程モ申上ゲタト思ヒマスガ、從前ノ營業ガ繼續シテ居ルト云フコトヲ前提ニ致シマシテ資產評價モ致シテ居リマス、

テ、其ノ一年ノ營業純益ヲ一割ニ還元致シ

マシテ、申シ換ヘマスト、十年分ノ營業純

益ト云フモノヲ見ルコトニナッテ居リマス

ノデ、其ノ營業純益デ算定致シマシタノト、

資產評價ニ依リマシテ算定致シマシタモノ

ト、双方見較ヘマシテ多寡ノ額ニ依ルコ

トニナッテ居リマズノデ、餘程多額ノ負債ヲ

持シテ居リマセヌヤウナ場合ハ、十年分ノ營

業純益ガ保證セラレテ來ルコトニナルノデ

アリマスカラ、大體負債ノ整理ハ出來ルト

チマシテ、双方ノ話合ヲ付ケルコトニモナッ

テ居ルヤウナ譯ニアリマスルノデ、今御話

ノヤウナ特別ノ場合ニ付キマシテハ、今後

十分考ヘテ行キタイト思ヒマス

スガ、只今ヨリ祕密會ニ致シタイト思ヒマ

スガ、如何デゴザイマセウカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵壽口直亮君) ソレデハ祕密  
會ニ入リマス、委員、政府委員、其ノ他議事  
ニ關係アル職員以外ノ退場ヲ願ヒマス

午後三時三十八分祕密會ニ移ル

午後三時五十七分祕密會ヲ終ル

○委員長(伯爵壽口直亮君) 祕密會ヲ閉ヂ  
マス、岩田君

○岩田宙造君 本案ハ三箇條ダケノ改正案

デアリマスガ、此ノ附則ヲ見マスト、「本法

施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ

定ム」トナッテ居リマシテ、三箇條ノ中ノ一

箇條毎ニ施行期日ガ別々ニ定メラレルヤウ

ニチヨット見エルノデアリマスガ、是ハ何  
カ特別ノ必要ガアルノデアリマスカ

○政府委員(豊田雅孝君) 第五條ノ二ハ増

資ニ伴ヒマシテ政府出資ガゴザイマスルノ

デ、四月一日カラニ致シタイト考ヘテ居リ

マスノデアリマスルガ、拂込資本金ニ對シ

マスル比率、要スルニ更生債券發行限度ノ

擴充ニ關シマスル規定ハ、御協贊ヲ經マシ

タナラバ、速力ニ施行致シタイト考ヘテ居

ルノデアリマシテ、尙第三十七條第三項申

ノ大臣ノ主管ニ關シマスル點モ、御協贊ヲ

經マスレバ速力ニ施行スルヤウニ致シタイ

ト考ヘテ居ルカラデアリマス

○岩田宙造君 第五條ノ二ニ付テ考ヘマシ

テモ、此ノ法案ガ法律ニナルト云フ時ト、

ソレヲ實行スル、法律ニナツタ内容ヲ實現

スル時トハ、必ズシモ一致シナクテモ宜イ

ノデナカト思フノデアリマスガ……サウ

云フ例ハ澤山アル、法律トシテハ今日カラ施

行サレマスケレドモ、其ノ施行シタ法律ヲ

又實際ニ實行スル時ハ必ズシモ今日直グト

云フ譯ニ行カナイモノハ、世間ニ例ガ幾ツ

モアルノデアリマスガ、ソレダケノ理由ナ

ラバ、別々ニシナクトモ宜ササウニ思ハレ

ルノデアリマスガ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(豊田雅孝君) 御尤ナ御尋デゴ

ザイマスルガ、實際ニ何時カラ施行スルカ

ト云フ點ニ重キヲ置キマシテ、條文モ簡單

ナモノデゴザイマスカラ、斯様ナ定メ方ヲ

致シタ譯デゴザイマス

○岩田宙造君 御趣意ハ分リマシタ

○委員長(伯爵壽口直亮君) 他ニ御質問ゴ

致シタイト思ヒマス、政府原案通り可決ト

政府委員 國務大臣 大藏省銀行局長 山際 興宣君  
大藏省會社部長 田中 正道君 豊君

○委員長(伯爵壽口直亮君) 御異議ナイモ  
ノト認メマス、ソレテハ此ノ法律案ハ全會  
一致ヲ以テ可決致シマシタ、次ノ委員會ハ  
明七日午前十時ヨリ開會致シマス、本日ハ  
是ニテ散會致シマス

午後四時一分散會

出席者左ノ如シ

同 同 同 同  
大藏書記官 深澤 家治君  
櫛田 光男君  
伊原 隆君  
商工次官 偉名悅三郎君  
農田 雅孝君  
商工省振興部長 豊田 雅孝君